

# 同志社大学発明提案書（発明届）兼 譲渡証

（申請者→同志社大学知的財産センター）

申請日 2020年 5月 1日

同志社大学発明規程を理解し、提案した発明に関する特許を受ける権利について、学校法人同志社に譲渡することを希望します。

発明の名称	吸音材およびその製造方法	発明創出日	2020年 4月 1日
-------	--------------	-------	-------------

※国内優先権主張出願の場合は□ボックスにチェックの上、基礎出願

国内優先権主張出願以外の場合は記入不要です。

国内優先権主張出願	<input checked="" type="checkbox"/>	基礎出願	整理番号：知発 0123	2019年10月 1日
			出願番号：特願 2019-123456	発明追加の有無
				<input checked="" type="checkbox"/> 有・無

※学内発明者の情報を記入して下さい。（英字表記含む）

代表発明者（申請者）	氏名：知財 太郎 Name: Chizai Taro TEL: 6900 Email: ○○○@mail.doshisha.ac.jp	印	所属：○学部○学科 職名：教授	発明への寄与度：50%
学内共同発明者	氏名：発明 二郎 Name: Hatsumeji Jiro	印	所属：○学部○学科 職名：准教授	寄与度：20%
学内共同発明者	氏名：権利 Name: Ke	印	所属：○学部○学科 職名：共同研究員	寄与度：20%

押印前に Word データでご提出ください。

学内発明者で発明の寄与度が合計 100%となるようにご記入ください。

※学生共同発明者の情報は、発明者が譲渡を希望する場合のみ、□ボックスにチェックして下さい。

学生共同発明者	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名：新島 一郎 Name: Niijima Ichiro	印	所属：○○研究科 学生 ID: 1234567890	発明への寄与度：10%
	発明への寄与内容（発明の構成要件のどの部分に寄与したかを具体的に記入して下さい。） 竹繊維の爆砕処理の回数についての最適条件の提案や、低融点樹脂と高融点樹脂からなる複合繊維の添加量の提案を行い、学生自身の実験により実証した。学生自身の着想、実証実験結果が、本発明の構成要件の一部となっている。			
学生共同発明者	□氏名：Name:	印	所属：学生 ID:	発明への寄与度：%
	発明への寄与内容（発明の構成要件のどの部分に寄与したかを）			

単なる実験補助者ではなく、真の発明人に該当する発明者であることをご説明下さい。

※学外共同発明者の情報を記入して下さい。

学外共同発明者	氏名：企業 三郎、技術 ひかる 所属：○○技研株式会社	氏名：所属：
---------	--------------------------------	--------

※発明に使用した研究費や設備について、該当する□ボックスにチェックして下さい。

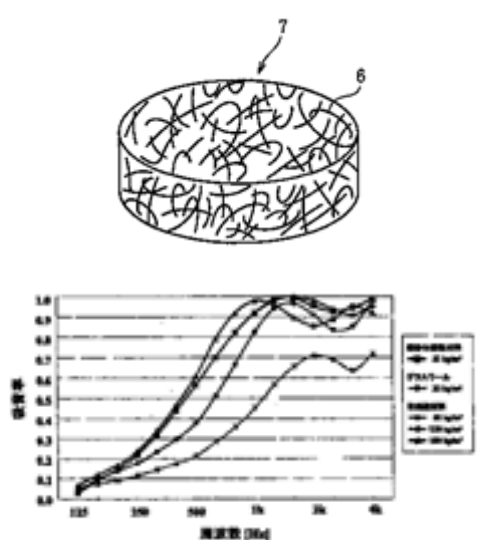
発明に使用した研究費	主	研究費種別	□大学支出金（実験実習費） □大学支出金（個人研究費） □奨学寄附金 □受託研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 共同研究費 □公的資金 □その他（ ）		
		研究題目	○○開発に関する研究		
		資金提供元	○○技研株式会社		
	その他	研究費種別	<input checked="" type="checkbox"/> 大学支出金（実験実習費） □大学支出金（個人研究費） □奨学寄附金 □受託研究費 □共同研究費 □公的資金 □その他（ ）		
		研究題目	なし		
		資金提供元	同志社大学		
		研究費総額	1,000,000 円		
発明に使用した本学設備（設備、場所等）		竹繊維開繊機、高温炉、爆砕装置、音響管（YM***）			
当該発明に関する共同研究契約等の有無		<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究契約 □受託研究契約 □秘密保持契約 □その他（ ） □無し	契約相手	○○技研株式会社	

※本発明の帰属や今後の展開について記入して下さい。

帰属に関する見解	例 1：○○技研との共同研究による成果であるため、本学と○○技研に帰属するのが妥当である。 例 2：公的資金ならびに本学の研究費を利用した、本学の研究成果であるため本学に帰属するのが妥当である。		
共願先	○○技研株式会社 or なし	持分に関する見解	本学：○○技研＝50：50
発表予定	発表先：日本騒音制御工学会 発表者：知財 太郎（本学）、技術 ひかる（○○技研株式会社） 発表日：2020年9月12日～14日 発表予稿の公開日：2020年8月30日		
外国出願について	□希望する □希望しない <input checked="" type="checkbox"/> 現時点では未定		

発明への寄与度から、ご記入ください。本学単独出願の場合は、本学 100%とご記入ください。

# 発明の概要

<p><b>従来技術・課題</b>          多孔質吸音材料の代表例として、グラスウールやロックウール等ガラス繊維を用いたものがあるが、繊維が空中に飛散しやすく、また焼却や土中廃棄が困難であることから、環境面に与える悪影響が大きい。この問題を解決するために、天然素材を使用          した多孔質吸音材料の提供が試みられている。例えば特開平7-216191には竹繊維単独または他の繊維との混合集合体に樹脂を混合し、過熱成形した構造体が提案されていて、その用途の一つとして吸音材が挙げられているが、吸音特性としては、劣るものである。本発明は、グラスウールと同等の吸音特性を有し、かつ環境にやさしい吸音材を提供することを課題とする。</p> <p><b>解決手段</b>          竹材に複数回の爆砕処理を施し、さらに機械的な開繊処理を加えて、直径が5～30<math>\mu</math>mの単繊維を取り出し、これに低融点樹脂と高融点樹脂からなる複合繊維を混合して目標の吸音特性に合わせた密度に加熱成形す</p> <p><b>発明により得られる効果</b>          竹繊維を爆砕処理と機械的な開繊処理により細繊維化されグラスウールと同一の繊維密度を得ることができるようになり、同等の吸音特性を得ることができる。</p>	<p>図面、表、グラフ等</p>  <p>発明のポイントを具体的に記載してください。</p> <p>本発明を実施できる用途、どのように技術移転をしていくか、現在の予定をご記入ください。</p>
--	--

用途、技術移転計画 (時期、相手先)	例1：〇〇技研株式会社で吸音材として製品化予定がある。 例2：現在のところ技術移転先は見つかっていないが、共同研究を実施している〇〇会社をはじめ、数年以内に ▲▲系企業への技術移転が可能と考える。 例3：□□での用途が考えられるため、□□系の企業向けの展示会への出展を行い、技術移転先を見つける予定。			
発明者所見	1. 発明の位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 基本概念発明	<input type="checkbox"/> 既存技術の応用・改良発明	<input type="checkbox"/> 小工夫
	2. 技術完成度	<input type="checkbox"/> 実用性確認レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 実験レベル	<input type="checkbox"/> アイデアレベル
	3. 用途	<input type="checkbox"/> 明確な対象あり	<input type="checkbox"/> 期待できる対象あり	<input checked="" type="checkbox"/> 今後検討
	4. 代替技術	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり (優位性大)	<input type="checkbox"/> あり (同等)
	5. 実用化までの課題	<input type="checkbox"/> ほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> あるが対応策あり	<input type="checkbox"/> 見通し不明

(知財コーディネーター所見欄) 担当 CD :

発明の種類	<input type="checkbox"/> 物の発明 (プログラム等を含む) <input type="checkbox"/> 方法の発明 <input type="checkbox"/> 物を生産する方法の発明 <input type="checkbox"/> その他 ( )	技術	JST 外国出願 支援申請	アイテムを選択してください。
国内優先権主張出願の場合	〇発明追加の有無 ( <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )	分類	発明評価 委員会	アイテムを選択してください。
先行技術調査結果 (公知技術の有無)	(本学単独出願時のみ記入)			
権利化のポイント (想定請求項等)	(本学単独出願時のみ記入)			
備考				

(知的財産センター記入欄)

受付日	整理番号		出願手続き主管	
	発明委員会 審議結果		特許事務所	
	持分割合			
	出願費用負担割合			
	公的資金による成果の場合	<input type="checkbox"/> 願書への記載 ( 要 ・ 否 ) <input type="checkbox"/> 報告義務 ( 要 ・ 否 )		